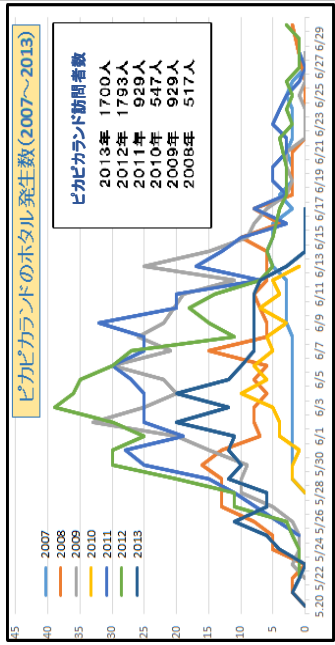


ピカピカランドの沿革

- ・1991年：市民から昔のようにホタルが飛ぶ逆瀬川にして欲しいとの要望あり。
- ・1992年：宝塚市、宝塚ゴルフ倶楽部、宝塚ライオンズクラブが出資し、この施設が設立される。
- ＊当初は地元自治会、老人会、市で管理。
- ・1993年：数十匹の羽化を確認したが、次第に減少
- 2000年には確認できず。
- ・2002年：「宝塚エコネット」がピカピカランドの管理を宝塚市に申入れ、管理を開始。
- ・2003年：カワニナの飼育を開始。
- ・2007年：当会会員が三田エコツーリズム研究会の講習会に参加。建屋内にアジサイやヤマブキ等を植栽。
- ・2009年：会員の自宅でホタルの幼虫の飼育を開始。
- ・2011・12年：近隣小学校児童を対象に環境学習の一環として、ホタルの幼虫の放流会を実施。

ホタルが飛ぶのはいつ？

2007年から2013年までのホタルの観察数の推移を表した下のグラフによると、**5月30日～6月10日頃（午後8時前後）が最も多く飛翔するよう**です。
(気候により変動します。)



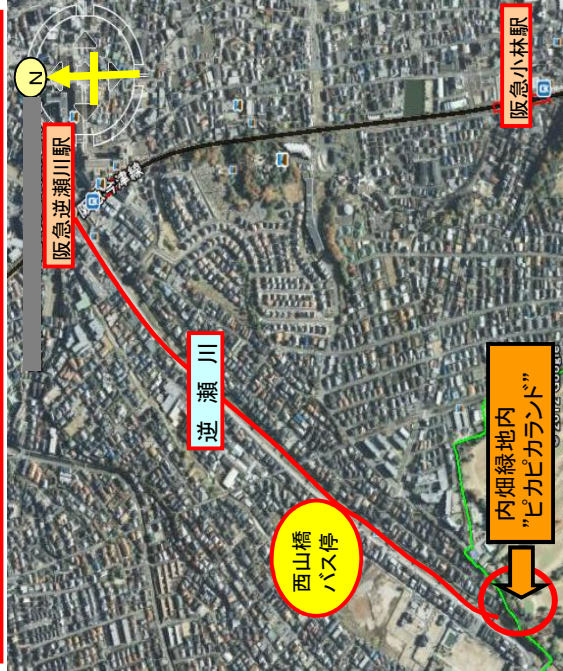
ホタルの観察結果

年	初確認日	最終日	最多ホタル数(観察日)
2007年	5月29日	6月28日	約6匹(6月16日)
2008年	5月22日	7月13日	約10匹(6月16日)
2009年	5月23日	6月25日	約30匹(6月6日)
2010年	5月28日	6月13日	約10匹(6月5日)
2011年	5月25日	6月28日	約32匹(6月9日)
2012年	5月22日	6月30日	約39匹(6月3日)
2013年	5月20日	6月16日	約20匹(6月2日)

ピカピカランドへの交通のご案内

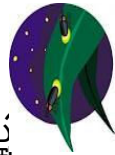
- ・阪急逆瀬川駅より、南西1.5Km(徒歩約17分)
- ・阪急バス西山橋バス停、徒歩5分
- 逆瀬川右岸を直進 内畑(うちはた)緑地内

逆瀬川駅周辺に有料駐車場がありますが、**ピカピカランド周辺には駐車場がありません**。お越しの際は、徒歩でお願いします。
(近隣にご迷惑が掛かりません)



宝塚エコネットの活動内容について

- ・ピカピカランドの管理活動
 - ・水路の水量維持管理
 - ・カワニナの餌補給
 - ・ホタル発生数の調査
 - ・水辺の草刈作業
 - ・遮光ネットの取付け ほか
- ・小学生の環境学習サポート
 - ホタル・エコクッキングや松尾湿原を通し、小学校低学年の環境学習支援
- ・その他の活動
 - ・宝塚市指定天然記念物「松尾湿原」(西谷地区)の保全・植生調査等

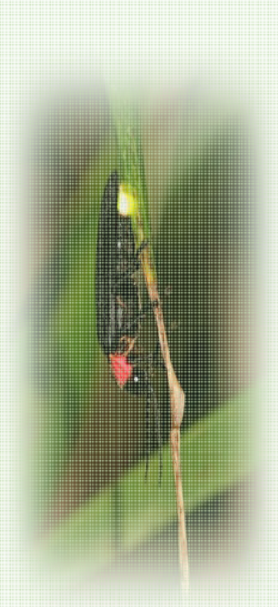


宝塚エコネット(TEN)

〒665-0867 宝塚市売布東の町12-7 ぶらざこむ1内
 ・電話：0797-86-5001 東：FAX：0797-83-2425
 ・ホームページ：http://www.geocities.jp/echonet_t/

逆瀬川

ピカピカランドの概要



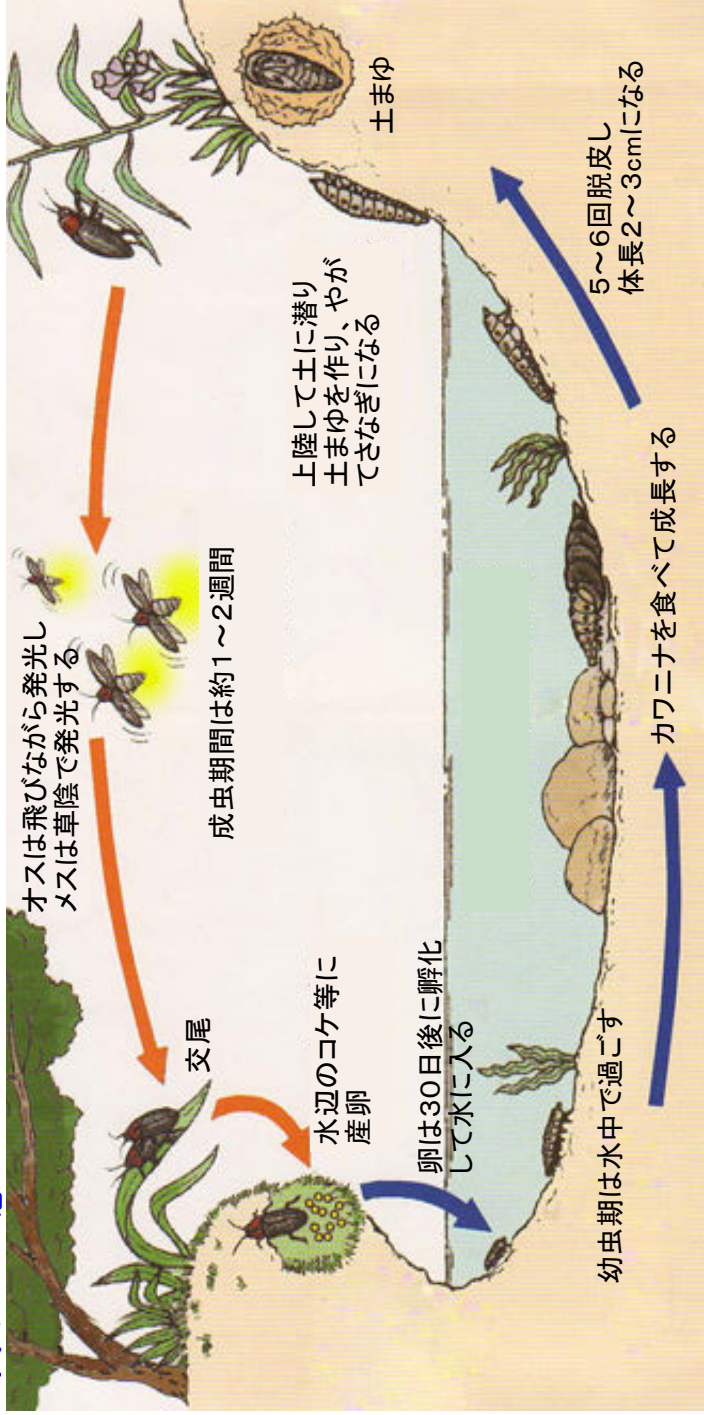
環境ボランティアグループ

宝塚エコネット

2013年 8月発行

全労済地域貢献助成事業の支援を受けて作成しています

ホタルの生態



ホタルの一生



- ・成虫(5月下旬～7月上旬)
ホタルの成虫となり発光しながら飛び交う。寿命は1週間～2週間といわれている。
- ・交尾・産卵(6月上旬～7月中旬)
卵の大きさは0.5mm程度。1ヶ月程で孵化し水に入る。
- ・水中生活(孵化～4月下旬)
幼虫は水中で餌としてカワニナを食べ、5～6回の脱皮を繰返し、約10ヶ月掛けて大きくなる。
- ・上陸(4月中旬～5月下旬)
水中から這い上がり、土の中に潜り土まゆを作る。

ホタルの幼虫放流会(2012年10月)

参加小学校

- ・2012年10月4日 第一回 西山小学校 3年 111名
- ・2012年10月5日 第二回 末成小学校 3年 73名
- ・2012年10月16日 第三回 逆瀬台小学校 2年 47名



・紙芝居によるホタルの生態学習
(環境学習の一環)
”ピカピカんとキラリちゃん”
(紙芝居の製作については、ソーシャルデザインフアンドの協力を得ました)



ホタルの幼虫の放流
一人1～2匹の幼虫を紙コップから水路へ約300匹放流



新聞掲載等

- 2011年9月22日・・・NHK神戸放送局の取材
- 2011年9月29日・・・産経新聞阪神支局の取材
- 2011年10月4日・・・読売新聞阪神支局の取材
- 2012年5月30日・・・FM宝塚の取材
- 2012年6月6日・・・朝日新聞阪神支局の取材
- 2012年10月16日・・・FM宝塚の取材



カワニナについて

- ・繁殖期は春と秋で、雌は卵ではなく微小な仔貝を年間800～2000匹ほど産み落とす。5月始めに生まれたカワニナの稚貝は、7月には2mmに育ち、これがゲンジボタルの孵化したばかりの幼虫の絶好の食べ物になる。
- ・カワニナは、自然の中では川の中の石に付いたコケや、えび・魚の死骸を食べますが、この施設ではキャベツ・白菜・小松菜・カボチャ・サツマイモ・ニンジン・スイカの皮等の野菜類も与えている。
- ・カワニナの外敵としては、サワガニ、ハナビロビル、クマネズミ等が挙げられる。(ピカピカランドで、カワニナがネズミに大量に食べられた事があった。)

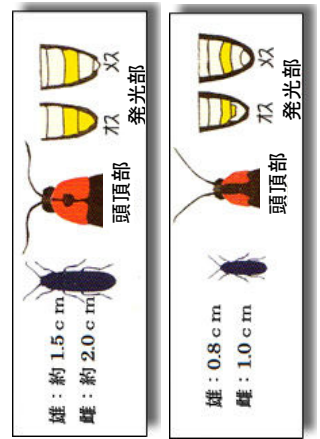


(紙芝居:こまったお客様)
大きさは大きいもので2.5～3cm
稚貝は0.2mm～0.5mm

ピカピカランドの施設について

- ・建屋：間口 4.1m X 奥行き 11.5m X 高さ 2.5m
- ・中央部には水路があり、逆瀬川より分岐した農業用水路より水を取込み、出口側から再び農業用水路に戻している。

ゲンジボタルについて(逆瀬川周辺はゲンジボタル)



- ・ゲンジボタル
西日本型:光の間隔は2秒に1回で、速く明滅する
頭頂部に黒の十字
- ・ハイケボタル(参考)
光の間隔は1秒に1回くらいで、弱々しく明滅する
頭頂部に黒の縦一文字

・ゲンジボタルの幼虫は、カワニナのみを餌として食べ栄養分を蓄え、成虫になると草の露などの水しか飲まない。
(ホタルの幼虫1に対して、25～30と沢山のカワニナが必要。)



ホタルの幼虫は美しく光る成虫とは、全く違った姿をしています。
大きさは、上陸前で2cm～2.5cm
生まれたては1.5mm～2mm程度。